

適正利用に係る交通量の調整に係る取組のバックデータ

1. 各種取組による一時的な過剰負荷の軽減.....	2
(1) 公共交通機関利用促進普及啓発キャンペーンの実施	2
(2) 公共交通（路線バス）の利用者数	4

1. 各種取組による一時的な過剰負荷の軽減

(1) 公共交通機関利用促進普及啓発キャンペーンの実施

① ポスター及びリーフレットの作成・配布

「西大台利用調整地区」を中心とした大台ヶ原へのマイカー中心の利用形態から公共交通利用への転換・促進を目的として、公共交通利用促進普及啓発キャンペーンとして、ポスター及びリーフレットの作成・配布を実施した。マイカー利用者への広報を効果的に実施するため、奈良県内外の道の駅および登山用品店へのポスター・リーフレットの配付を行うとともに、近畿圏の主な自然系博物館へ掲示の依頼を行った。作成部数は、ポスター200部、リーフレット10,000部であった（H23：ポスター200部、リーフレット8,000部）。

表1：ポスター・リーフレットの掲示・配布の実施概要（単位：枚）

配布先		ポスター	リーフレット
近畿日本鉄道(株)	主要駅等	100	5,000
奈良交通(株)	各営業所等	20	3,500
奈良県タクシー協会		1	10
道の駅	奈良県内 10 箇所	9	100
	奈良県外 11 箇所	9	110
自然系博物館	10 箇所	9	100
登山用品店	11 箇所	9	201
その他	大台ヶ原ビジターセンター、行政機関等	43	479
	山上における直接配布	—	500
合計		200	10,000

注) ポスター・リーフレットの枚数は、協力を依頼した枚数を示す。



図1：ポスター・リーフレットのデザイン(おもて面)



図2：リーフレットのデザイン(うら面)



写真1：ポスターの掲出状況(近鉄大和上市駅構内)



写真2：ポスターの掲出状況(上北山村物産店)

② 普及啓発イベントの開催

公共交通利用促進普及啓発キャンペーンの一環として、下記のとおり、普及啓発イベントを開催した。

■ 実施期間

平成 24 年 9 月 29 日(土) 11:00～15:00

■ 実施場所

大台ヶ原山上駐車場周辺

■ 対象

大台ヶ原への来訪者

■ 実施方法

チラシの配布 (200 部)



写真3：普及啓発イベントの実施状況1



写真4：普及啓発イベントの実施状況2

(2) 公共交通（路線バス）の利用者数

近年は、路線バスの利用者数は減少傾向にあったが、今年度は3,681人と、昨年(H23:2,076人)よりも大幅に増加した。

なお、今年度は、例年と同様、近畿日本鉄道(株)により「大台ヶ原 自然の森 体感きっぷ」が発売された(4,120~6,300円、平成24年4月28日~11月24日、往復割引乗車券ほか特典あり)ほか、奈良交通(株)で「大台ヶ原・洞川周遊フリー乗車券」が発売された(4,500円、平成24年9月1日~11月23日、300枚限定、3日間有効)。

表2：路線バス乗車人数の推移

年	上市駅発（行き）	大台ヶ原発（帰り）
平成15年	4,685	4,355
平成16年	2,902	2,685
平成17年	2,875	2,677
平成18年	3,105	2,974
平成19年	2,873	2,772
平成20年	2,485	2,440
平成21年	2,221	2,125
平成22年	1,824	1,750
平成23年	2,076	2,026
平成24年	3,681	3,664

出典) 奈良交通(株) 吉野営業所・葛城営業所

注1) 単位は「人」。

注2) 上市駅発大台ヶ原行きについては、途中(和佐又、杉の湯)で下車した者を含む。また、大台ヶ原発上市駅行きについては、途中(和佐又、杉の湯)で下車した者を含む。

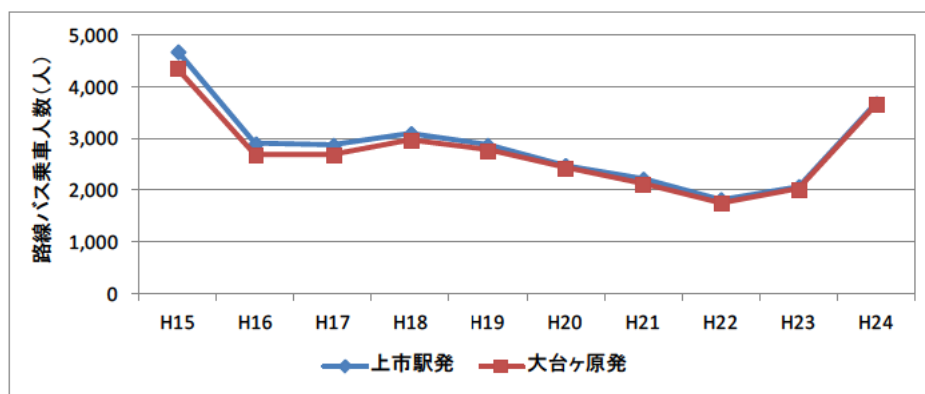


図3：路線バス乗車人数の推移（平成15～24年度）

出典) 奈良交通(株) 吉野営業所・葛城営業所

注1) 上市駅発大台ヶ原行きについては、途中(和佐又、杉の湯)で下車した者を含む。また、大台ヶ原発上市駅行きについては、途中(和佐又、杉の湯)で下車した者を含む。